

令和6年度子どもスキップ運営協議会資料

# 子どもスキップの運営状況

令和7年2月26日

放課後対策課 児童支援グループ

# 目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和6年度事業報告

04 | 令和7年度新規・拡充事業

# 目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和6年度事業報告

04 | 令和7年度新規・拡充事業

# 01 | 事業概要

○子どもスキップは、小学校の余裕教室や校庭などを活用した、放課後の「子供同士の遊びと交流の場」である。

○平成16年に子どもスキップ南池袋の開設から、順次児童館をスキップに移行。平成28年に子どもスキップ池袋本町が開設し、区内22小学校内に整備された。

○平成29年度からは事業を区長部局から教育委員会へ移管し、学校との連携を強化することにより、一元的な安全対策や施設改修を実現している。

# 目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和6年度事業報告

04 | 令和7年度新規・拡充事業

# 02 | 子どもスキップの状況

## (1) 学童クラブ児童専用区画の面積と定員

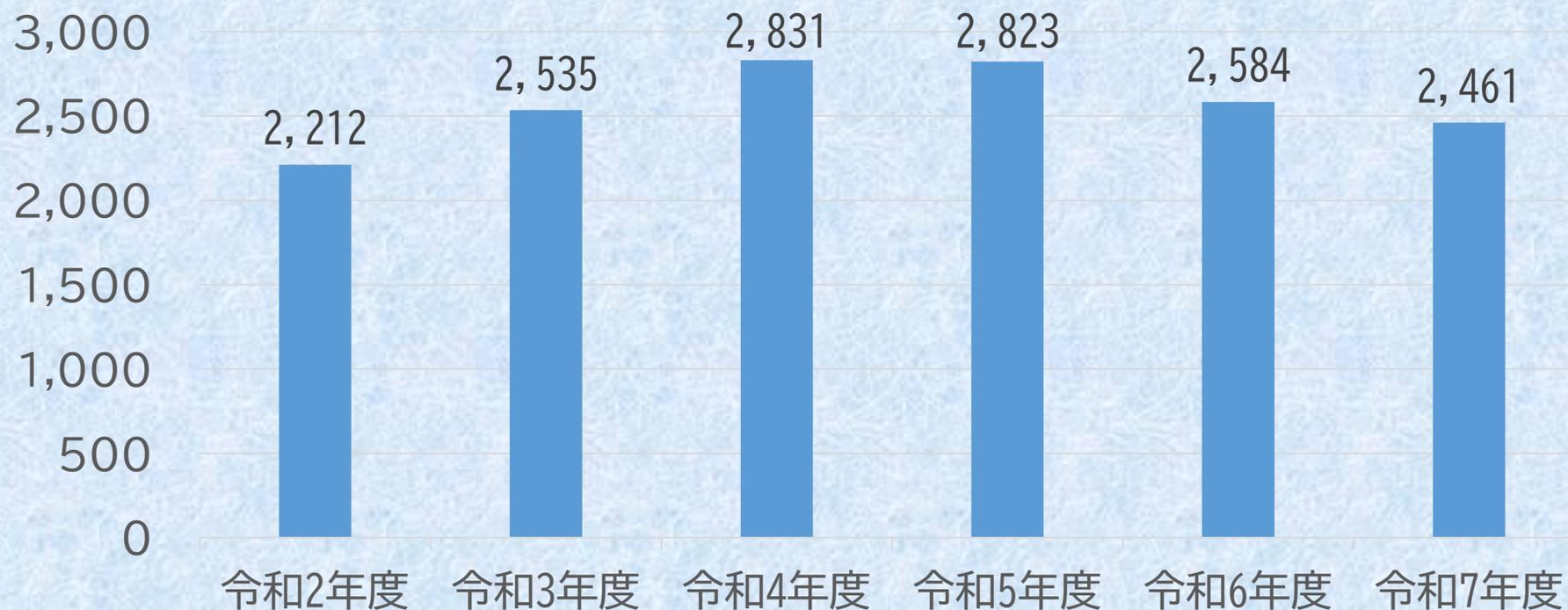
No.	施設名	児童専用区画 (㎡)	定員 (人)	No.	施設名	児童専用区画 (㎡)	定員 (人)
1	仰高	258.51	130	12	池袋	207.60	100
2	駒込	513.39	180	13	南池袋	307.45	180
3	巣鴨	279.18	150	14	高南	464.70	190
4	清和	313.31	150	15	目白	329.15	190
5	西巣鴨	249.68	120	16	長崎	211.50	128
6	豊成	307.01	120	17	要	259.24	150
7	朋有	396.77	230	18	椎名町	379.50	150
8	朝日	146.74	88	19	富士見台	261.96	130
9	池袋第一	245.00	148	20	千早	223.50	135
10	池袋本町	423.04	240	21	高松	368.50	190
11	池袋第三	450.17	190	22	さくら	242.78	120



# 02 | 子どもスキップの状況

## (2) 学童クラブ登録者数の推移

学童クラブの登録者数は年々増加してきたが、令和4年度をピークに減少に転じている。

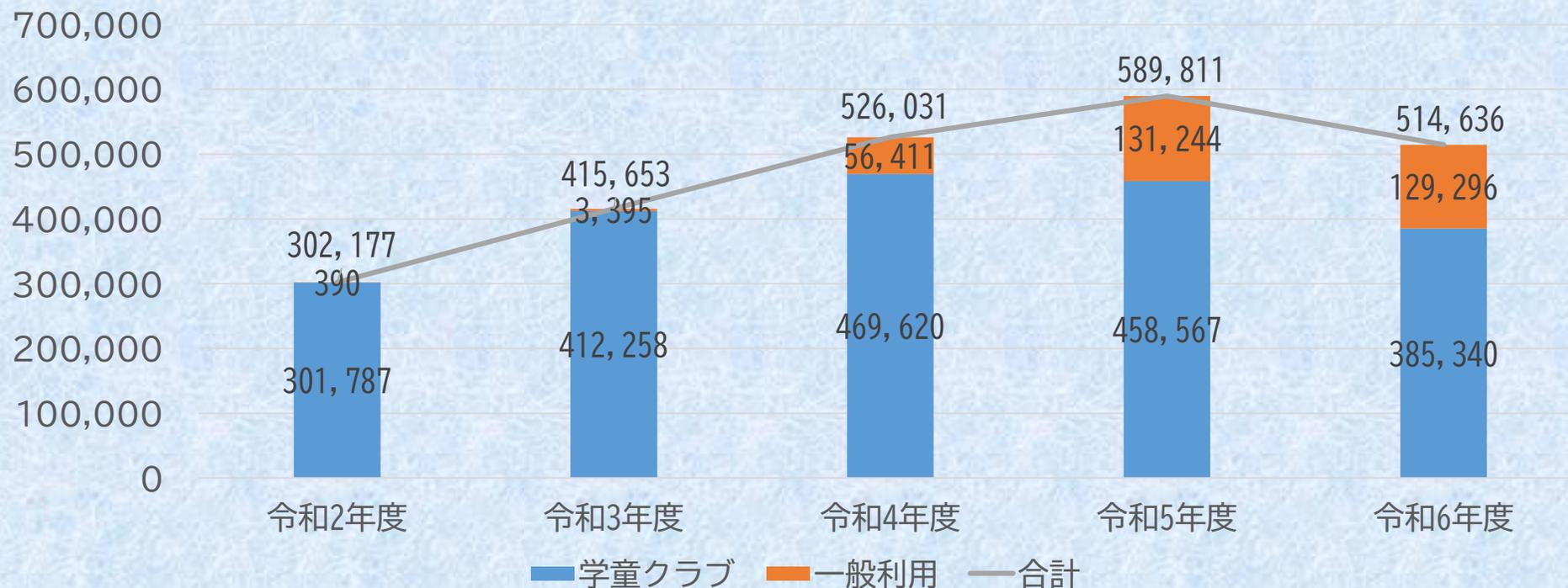


※R2からR6までは、5月1日現在。R7は4月1日の見込み

# 02 | 子どもスキップの状況

## (3) 年間延べ利用者数の推移

学童クラブの年間延べ利用者数は、コロナ禍で減少し、その後年々増加してきたが、令和5年度は前年度と横ばいとなり、令和6年度も同程度の見込みである。一般利用の年間延べ利用者数はコロナ前の水準に戻りつつある。



※R2~R4の一般利用は、学年や人数、日にちを限定して実施。R5は5/8から一般利用を全面再開  
※R6は、1月末までの集計

# 02 | 子どもスキップの状況

## (4) 発生事故数等の推移

子どもスキップで発生する事故は、校庭や体育館で発生する割合が高く、症状としては、打撲・捻挫・骨折が多い。

場所別発生件数

場所	件数			
	R3	R4	R5	R6
校庭	67	75	66	63
体育館	10	11	13	14
コア	0	14	7	10
セカンド	10	10	7	8
施設内階段	0	1	1	3
その他	11	13	12	7
合計	98	124	106	105

症状別発生件数

症状	件数			
	R3	R4	R5	R6
打撲	32	32	23	24
捻挫	8	10	10	10
すり傷	4	2	1	1
切創	4	3	4	4
火傷	0	0	0	0
骨折	22	30	33	24
脱臼	4	4	2	2
その他	24	43	33	40
合計	98	124	106	105

※R6は、1月末までの集計



# 02 | 子どもスキップの状況

## (5) 子ども会議

各スキップでは利用児童による「子ども会議」を開催し、行事やルール決めなど、子どもスキップ運営に児童自らの意見を反映させている。

	R4	R5	R6
子ども会議開催数(回)	105	139	121
子ども会議参加人数(人)	4,550	5,835	6,682
子どもの意見を反映した行事やルール等の数(件)	231	336	401

※R6は、12月末までの集計



「最近、おもちゃの片付けができていません。どのようにしたらいいですか？」と子ども会議を開催

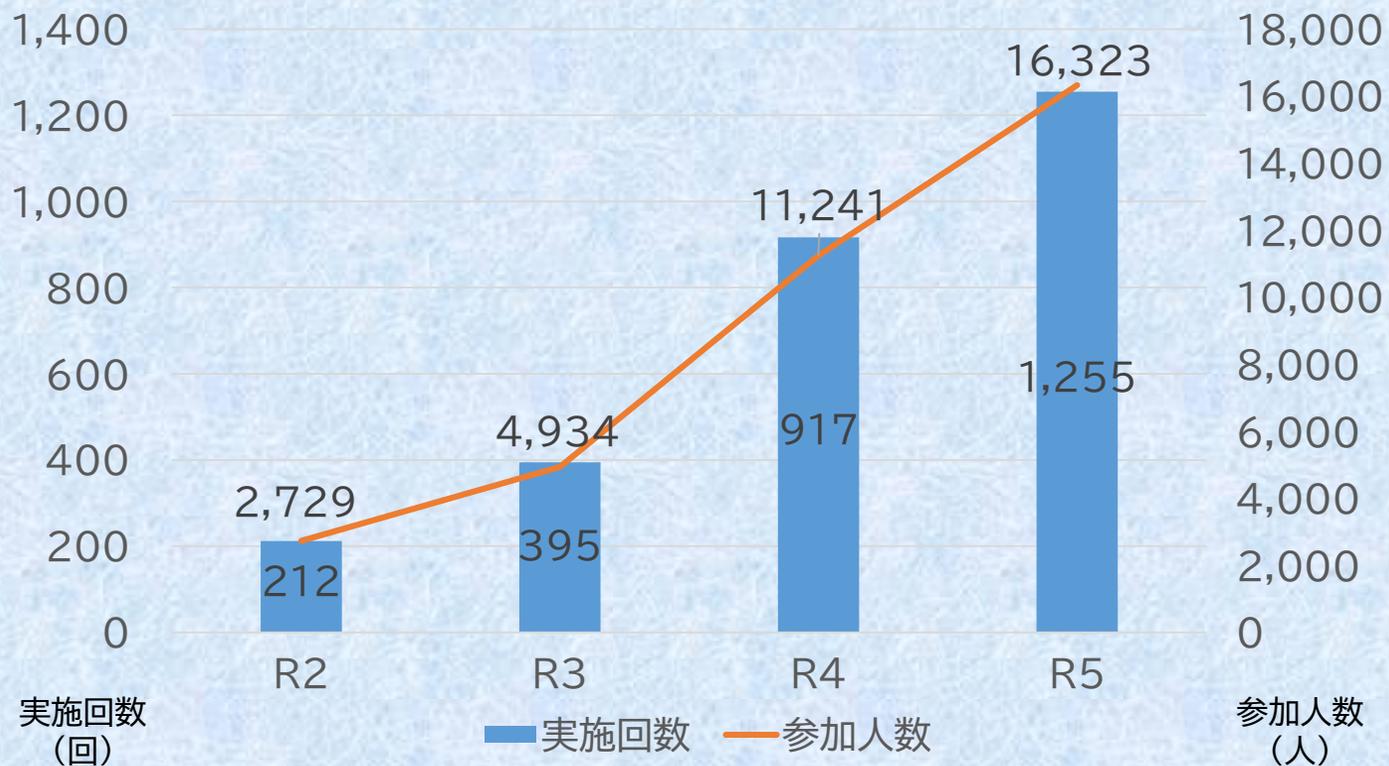
みんなで決めたルールを自主的にポスターにしてくれました。



# 02 | 子どもスキップの状況

## (6) 放課後子ども教室

地域の住民の参加と協力を得て、学習、スポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの教室を開催している。



楽しい工作



ゆかたの着付けと盆踊り



バドミントン教室



盆石

# 目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和6年度事業報告

04 | 令和7年度新規・拡充事業

# 03 | 令和6年度事業報告

## (1) 子どもスキップ職員の欠員解消

区内外の大学・専門学校訪問、福祉職転職イベント参加、現職員やインターン実習生との意見交換、PTAへの働きかけ等、精力的に採用活動を行った結果、多くの応募があり、令和7年4月には欠員が解消される予定

職名	任用形態	定数	欠員		
			R6.4.1	R7.2.1	R7.4.1
所長 児童指導	正規職員	44	△ 4	△ 4	0
学童指導専門員 学童指導員	会計年度任用職員	109	△ 13	△ 13	0
スクール・スキップサポーター	会計年度任用職員	47	△ 17	△ 8	0



※所長、児童指導については、人事課において配置予定。

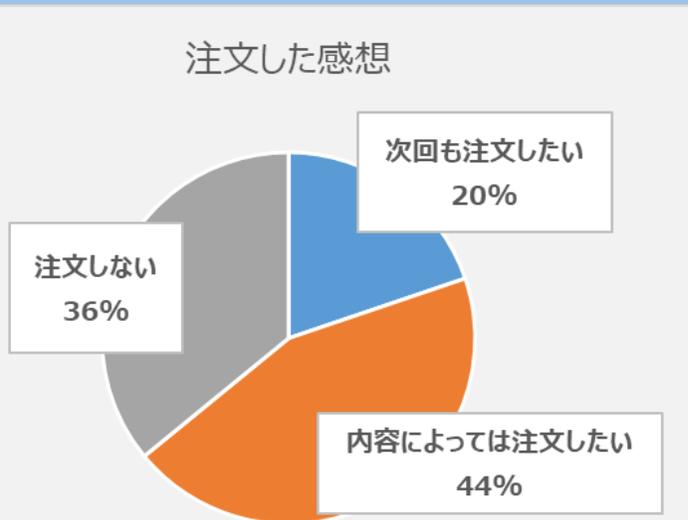
# 03 | 令和6年度事業報告

## (2) 長期休業期間中の配達弁当の見直し

### ○従来

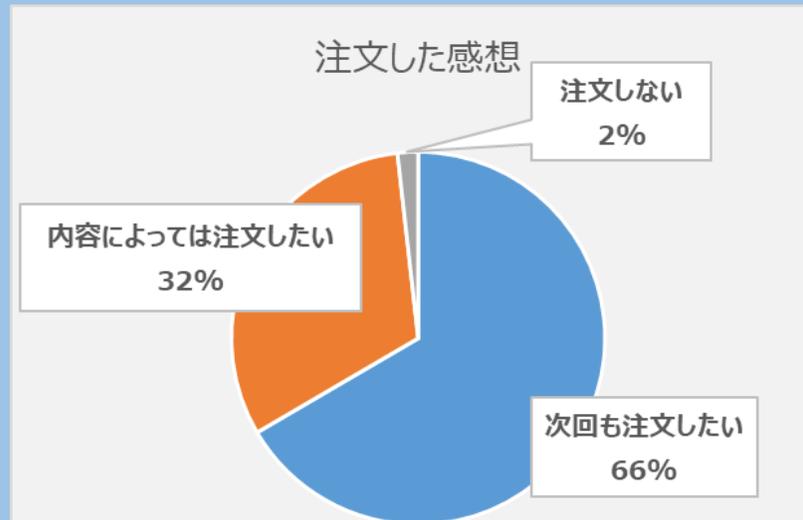
- ・ 1食の費用：600円（税込）
- ・ メニュー数：1種類（日替わり弁当）
- ・ ご飯の量：変更不可
- ・ 注文期間：あらかじめ指定された注文受付期間（2週間ほど前）に弁当が必要な日分をまとめて注文する

る



### ○現在

- ・ 1食の費用：500円（税込）
- ・ メニュー数：3種類（日替わり弁当、おにぎり弁当、カレーライス）
- ・ ご飯の量：普通と大盛の2種類
- ・ 注文期間：弁当が必要な日の前営業日の17時までに注文する。



残飯がほとんどなくなりました！

# 03 | 令和6年度事業報告

## (3) アーバンスポーツ体験

(株)デザート、(株)Xcountryと提携し、複数のスポーツを同時期に行う「マルチスポーツ」の考え方にに基づき、子どもスキップを利用する児童を対象に、「アーバンスポーツ」の体験の機会を提供

○体験会・説明会: 令和6年8月6日(火)

○スケジュール: 毎週火曜日: 15:45~16:45

施設名	9月・10月	11月・12月	1月・2月
子どもスキップ 朋有	ブレイクダンス	パルクール	ダブルダッチ
子どもスキップ 清和	ダブルダッチ	ブレイクダンス	パルクール
子どもスキップ 椎名町	パルクール	ダブルダッチ	ブレイクダンス



ブレイクダンス



パルクール



ダブルダッチ

※マルチスポーツ: 子どもたちが複数のスポーツを同時期に行うことにより、身体機能の向上や怪我の防止に効果があり、また、複数のコミュニティに所属することにより、社会性や協調性を育む機会の増加にもつながるとされている。

※アーバンスポーツ: 主に「都市資源」を活用した新しい運動種目。「都市型スポーツ」とも呼称される。

# 03 | 令和6年度事業報告

## (4) ミュージカルワークショップ

子どもスキップを利用する児童を対象に、元宝塚歌劇団の講師によるミュージカルワークショップを実施し、唄・ダンス・演技を学び体験する場を提供

開催日時	施設名	演目	参加者数
R6. 8. 6 (火)	子どもスキップ 池袋	フレンド・ライク・ミー (アラジンより)	16名
R6. 8. 6 (火)	子どもスキップ 千早	フレンド・ライク・ミー (アラジンより)	20名
R6. 9. 14 (土)	子どもスキップ 西巣鴨	ホール・ニュー・ワールド (アラジンより)	16名



# 目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和6年度事業報告

04 | 令和7年度新規・拡充事業

# 04 | 令和7年度新規・拡充事業

## (1) 「小1の壁」対策の実施

いわゆる「小1の壁」対策として、朝の預かり（おはようクラス）・帰宅時の見送り（おかえりサポート）事業を4月から全校で実施

	おはようクラス 	おかえりサポート 
内容	平日7時45分から登校時間まで、学校用務員が子どもスキップまたは指定の教室で児童を見守る。	平日16時～18時の間、児童を方向別に分け、シルバー人材センター会員が暗い道や交通量の多い道を安全が確認できる地点まで見送る。
対象	当該小学校の新小学1年生で、学童クラブ登録者かつ9時前利用を申請している児童	主に学童クラブ登録者(学年は問わない)
実施期間	通年	・新入生が入ってくる年度当初 ・日が落ちるのが早くなる冬季
利用条件	必ず保護者が預かり場所(子どもスキップまたは指定の教室)まで付き添うこと	なし
事前登録	必要	不要



# 04 | 令和7年度新規・拡充事業

## (2) 学童クラブ出欠確認等システムの導入

学童クラブ入退室管理システム（ミマモルメ）の拡張機能である出欠確認等システムの試行を5月から3施設で実施し、2学期から全施設で本格導入予定

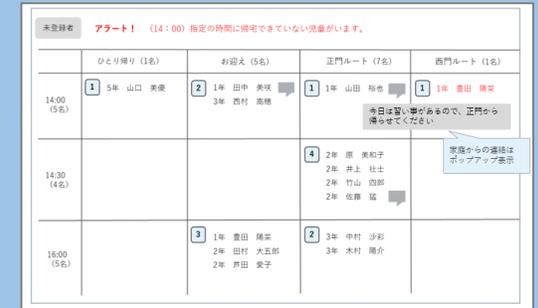
拡張機能	①出欠連絡機能	アプリで欠席・遅刻等の連絡を受付。児童の帰宅時間をシステムで管理
	②連絡帳機能	アプリで保護者と各学童クラブとの必要な連絡を行うことができる。
	③一斉配信機能	放課後対策課又は各学童クラブから保護者へ様々な情報を迅速に発信
	④アンケート機能	アプリで保護者へのアンケートを実施

### ○導入前



- ・ホワイトボード上のマグネットを用いて児童の帰宅時間を管理。職員の作業時間がかかる。
- ・保護者は、紙の連絡帳が電話で予定変更を連絡する必要がある。
- ・間違いが発生しやすい

### ○導入後



- ・保護者がアプリで連絡した内容が自動的にシステム上に反映されるため、職員の作業も軽減され、間違いも起こりにくい。